

第3学年 国語科 学習指導案		日時	平成30年11月16日(金) 第4校時
題材名	2 内容…B(1)ア , C(1)ア 作られた「物語」を超えて 【育成する資質・能力…コミュニケーション能力】	学年・組 人数	第3学年A組 男子13名 女子9名 計22名
指導者	川上 未来	場所	3年A組教室

1 単元観

新中学校学習指導要領解説国語編では、「B書くこと(1)ア 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にすること」「C読むこと(1)ア 文章の種類を踏まえて、論理の展開の仕方などを捉えること」と示されている。

本単元は、「ゴリラ」を例に挙げ、人間が作り上げた「物語」とそれが生み出す悲劇について説明している。筆者である山極寿一氏は、人類学・霊長類学者であり、約三十年間に渡りアフリカの地でゴリラを観察している。本文では、「勝手な解釈・思い込み(=作られた「物語」)による悲劇を生まないように、その先にある真実を知ろうとすることが大切だ」という主張を支えるために、長年の研究からわかった客観性や信頼性の高い情報を根拠として述べている。つまり、この教材は、伝えたいことを明確にして読み手を説得するためには、何を根拠として述べるのが大切なのか、ということ筆者の論理の展開の仕方から学び取ることができる教材だと考える。

2 生徒観

平成30年度全国学力・学習状況調査〔国語B〕「目的に応じて文章を読み、内容を整理して書く」という趣旨の問題に関して、正答率は5.0%だった。これは、県平均を9.1%下回っている。また、生徒質問紙の「地域や社会で起きている問題や出来事に関心がありますか」という問いに関する肯定的回答は72.5%だったのに対し、「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか」という問いに関する肯定的回答は55%だった。これらの実態から、生徒たちは①目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くということ②地域や社会で起きている問題や出来事に対する関心は高いが、自分自身に何ができるかを考えそれを表現すること、の二点に難しさを感じていることがわかる。

3 指導観

本単元を貫く言語活動として、「地域や社会で起きている問題について説得力のある文章を書こう」という活動を設定する。

社会生活における課題について自分の考えを持たせるために、導入では、芥川龍之介版の『桃太郎』を読ませる。既存のイメージと芥川版の内容を比較させることで、「一面を切り取られて勝手な解釈をされること」について考えさせる。その後、本文を通読し、段落構成を捉え、「ゴリラ」の例はあくまで主張を支えるための一例であることを押さえる。

探究・表現の段階では、本文で挙げられた「ゴリラ」の例のように、勝手な解釈から作られた「物語」が他にもないか考える。「目的に応じて文章を読ませる」ために、その「物語」が生まれた原因やそれが引き起こす悲劇について、図書資料を活用して情報を収集させる。そして、「内容を整理して書く」ために、班内で互いの文章を読み合い、意見を交流させる。そうすることで、情報を取捨選択し、論理の展開を工夫した、他者に伝わりやすい文章を書く力が身につくと考える。

4 題材構想

<題材を通して育成する生徒の姿>

- ・読んだ文章から得た情報を整理し、日常生活や自分のこれまでの経験と比べながら考えを深めようとする意欲を持っている。
- ・社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、根拠を明確にして文章に書くことができる。

<p>社会の中で作られた「物語」とその先にある悲劇について、 自分の考えを深め、わかりやすく他者に伝えよう</p>				
(全7時間)	学習課題・発問	生徒の学習活動	評価規準	評価方法
ふりかえる	⑦ふりかえり 「学習をふりかえて、どのようなことが勉強になっただろう？」	・今回の学習で何を学んだのか、何をつかんだのか等を整理する。		
深める・表現する	④⑤【本時】⑥探究・表現 「筆者は、主張を支える根拠・具体例として“ゴリラ”を挙げました。あくまで、ゴリラは一つの例です。そこで、みなさんもニュースや日常生活等で気になっていること、主張したいことと、その主張を支える根拠を見つけましょう」	・世の中で気になる『作られた「物語』』について、班で題材を決め、自分の考えを整理し、小グループで交流することを通して、客観性や信頼性の高い情報を集め、文章にする。	・目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。【書く】	行動観察 WS
考える ②	③情報の収集・整理・分析(2) 「主張に説得力を持たせるために、筆者はどのような工夫をしているか見つけよう」	・前半部分では「ゴリラ」の例を挙げ、後半部分では「人間社会」での例を挙げることで、読み手に「物語」を身近に感じさせる効果があることに気付く。	・文章を読んで考えを深め、人間、社会などについて、自分の意見を持っている。【読む】	行動観察 WS
考える ①	主張を支える「根拠」の持つ力について考えよう（伝えたいことがしっかり伝わるための工夫を捉える）			
引き出す・見通す	②情報の収集・整理・分析① 「筆者の主張を捉えるために、要約しよう」 ①単元の概要・課題設定 ・それぞれが持つイメージを交流しよう。 ・大まかな内容を捉えよう	・後半部分を読む。 ・各意味段落のキーセンテンスを整理することで、筆者の主張とそれを支える根拠を整理する。 ・芥川龍之介版の「桃太郎」を読み、自分の中のイメージと比較する。 ・前半部分を読み、おおまかな内容を捉える。聞きながらそれぞれの段落のキーセンテンスに線をひく。	・文章の中で重要な考えを表す一文はどこなのかを探し、要旨を捉える学習に主体的に取り組もうとしている。【関・意・態】	行動観察 ノート

本校で育成する資質・能力
【コミュニケーション能力】
自分の思いや考えを相手にわかりやすく伝えようとする意識や技術に課題がある。
筆者の論の展開や根拠の述べ方を学習することで、相手に伝えるための技術を身につけさせたい。

<生徒の課題>

- ・目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くということ。
- ・地域や社会で起きている問題や出来事に対して、自分自身に何ができるかを考えそれを表現すること。

5 本時の展開

(1) 本時の目標 目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、情報として何が必要か見通しを持つことができる。

(2) 学習の展開

学習内容 (○) 学習活動 (・) 【学習形態】	指導上の留意事項 (◇) (◆…「努力を要する」状況と判断した生徒への手立て)	評価規準【観点】 (評価方法)
<導入>		
<p>1 ○咲く咲く復習 ○既習事項の確認 「作られた物語＝誤解」であることを確認させ、日常生活や社会の中にある「誤解」を解くために文章を書くということを理解させる。(5分)</p>		
<p>学習のめあて 気になる『作られた「物語」』について、誤解を解く方法を考えよう</p>		
<展開>		
<p>2 ○社会や日常生活における『作られた「物語」』と、自分の主張についてワークシートに整理させる。(10分)【個】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに以下の3点を整理する。 <ol style="list-style-type: none"> ①自分が「作られた『物語』だなと思うこと」 ②そのように思う根拠・経験・見聞 ③読む人にわかってほしい・伝えたいこと <p>3 ○アドバイスの視点を持たせる。(10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例文を読み、「この説明で誤解を解くことができるか」を考える。【個→班】 ・なぜこの文では誤解を解くことは難しいのか、より伝わる文となるためにはどういう情報を根拠として挙げる必要があるかを考える。【全体】 <p>4 ○主張を支えるための根拠として、何を挙げることが適切か、情報として何が足りていないのかを考えさせる。(15分)【個→班】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ずつ順番に班内で発表をし、アドバイスをしあう。 	<p>◇前時に、気になるニュースや身近な「物語」について、各班でどんなテーマにするかを決定し、家庭学習として情報を収集させておく。</p> <p>◇ワークシートの記入見本を配付する。</p> <p>◆「作られた物語＝誤解」であることを確認し、机間指導の際に書きたい内容を口頭で述べさせた上でワークシートに整理させる。</p> <p>◇自分の感情論のみでは相手の誤解を解くこと・説得することは難しいということを理解させる。</p> <p>◇相手の誤解を解くためには、根拠として「客観的事実」「数値」等を挙げるのが重要だということを押さえる。</p> <p>◇自分の意見と比較しながら他者の意見を聞かせることで、さらに考えを深められるようにする。</p>	<p>主張を支えるための根拠について、情報を収集しようとしている【関・意・態】(ワークシート、行動観察)</p>
<まとめ>		
<p>5 ○本時のまとめと振り返りを記入させる。(3分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えで足りないと思ったこと、もっと調べる必要があると思ったことを書く。 <p>6 ○まとめと振り返りの交流(2分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指名してまとめと振り返りを発表させる。 	<p>◇内容がわかりやすく整理されている生徒のまとめ・振り返りのキーワードをアナウンスする。</p>	

6 話し合いのデザイン【5時間目】

「引き出す」発問

①身の回りや社会の中で、あなたが『作られた「物語」』だと思えることは何ですか？
 ②そのように思う根拠（経験や見聞）は何ですか？
 ③読む人にわかってほしいこと・伝えたいことは何ですか？

**①～③を
ワークシートに記入する**

- ①
- ・ジャーナリストの捕縛は自己責任である
 - ・最近の若者はなっていない
 - ・イノシシが人間の生活を脅かしている
 - ・ハロウィンで仮装を楽しむ
 - ・美しく神秘的なホワイトタイガー 等

②
因島でもイノシシが出てきて騒動になることがある。自分も追いかけて怖かったという経験がある。しかし、イノシシ本来の住処や食料が奪われていることが原因ではないかと感じるから。

②
「最近の若者は」「〇〇世代は～」というような話をよく聞く。若者の学力や人間性を否定するような言い方もよく耳にする。しかし、本当に最近の若者は、数十年前と比較して劣っているのだろうか、という疑問を感じているから。

②
ニュースを見ていると、「ハロウィン＝仮装パーティ」のように報道されていたが、本来のハロウィンは「収穫祭」や日本のお盆のような意味合いを持つものだと聞いたから。町中で大騒ぎするのは日本の文化として恥ずかしい。

③
イノシシが人間の住居に入った田畑を荒らしたりするのは、もともと人間が彼らの住処や食物を荒らして奪ったからである。害獣として駆除を繰り返してゆくのは、絶滅に追い込む原因となるのではないかと。

③
世代による偏見や差別，軽んじた発言は，人間関係に亀裂を生む。世代が違うから考え方が違うと捉えるのではなく，違う人間なのだから考え方も違うと捉えることが大切だ。相手の優れた点や良い点に目を向けるようにすることで，望ましい人間関係が築けるだろう。

②
その場のノリで「表面的な楽しいこと」に流されるのではなく，本来の目的を忘れないようにすることが大切だ。意味や目的を考えずに行動することは，やがて，文化の衰退につながる。

教師が用意した「根拠が不十分な例文」を読む

「考える」発問

次の文を読んで…どうしたら誤解が解けるとおもいますか？

「わかってほしい」「誤解だ」と繰り返すばかりだから，客観的な事実を伝えた方がよい

自分の気持ちを言っているだけだから，そうではなくて，日時や場所といったデータを入れた方がよい

誤解を解くためには主張だけではなく**根拠**が必要であり，さらには**何を根拠とするのか**が重要だということを理解する

「深める」発問

自分が挙げた根拠は，読み手を説得できるようなものになっていますか？
 足りない情報があるとしたら，何を足したらより伝わりやすいでしょうか？

- ・イノシシによる被害状況の変動と，何年頃から被害が出始めたのか，その頃の社会状況はどうだったのかデータを調べると良いのではないかと。
- ・山の面積や，イノシシの餌となる食物の量の変化について調べると良いのではないかと。
- ・学力調査やアンケートの結果を比較すると良いのではないかと。
- ・実際に保護者の年代や地域の人にインタビューをしてみて，自分の学生時代と今の学生のイメージの違いについて話してもらって良いのではないかと。
- ・ハロウィンという行事の発祥と本来の意味，なぜ仮装をするのか，いつ頃日本に伝わったのか，いつ頃から渋谷で騒ぐようになったのかを整理すると良いのではないかと。